

各 位

会社名 北川精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 北川 条 範
(コード:6327、東証 JASDAQ)
問合せ先 執行役員財務部長 小林 由 和
(TEL:0847-40-1200)

中期経営計画の策定について

当社グループは、平成30年6月期を最終年度とする3ヶ年の「中期経営計画」を策定しました。概要は下記のとおりです。

記

1. 策定の背景

当社は平成27年7月より第60期を迎えました。当社グループは1957年の創業以来、プレス装置に関する独自の技術力を基に産業機械分野において発展を遂げてまいりましたが、前中期経営計画が開始した平成24年7月時点では、新規参入したPV事業での急激な外部環境悪化を主要因として、赤字が継続する事態となっておりました。

前中期経営計画におきましては、不採算事業からの撤退を急ぐと共にコア事業に経営資源を集中することにより、経営基盤を再構築し早期再建を実現すべく、全社を挙げて課題解決に取り組んでまいりました。

計画初年度では、不採算事業からの撤退には目処が付いたものの本格的な業績回復には至らず、数値目標を下方修正いたしました。しかしながら、製造、販売、管理の各部門で経営改善に繋がる諸施策を着実に実施した結果、本日発表のとおり計画期間中は3期連続の黒字を達成し、安定的な黒字基調の定着へ一定の成果を挙げることができました。

このような状況下で新たに始まる3ヶ年においては、この業績改善基調を一層盤石のものとし、また一方では次の大きな飛躍への土台造りを行うことを目標に、中期経営計画を策定いたしました。

2. 基本方針

新領域へのチャレンジ ～新たなKITAGAWAの確立～

(1) 真空プレス技術の新分野・新市場への拡大、浸透

当社独自のプレス技術の優位性を活かし、既存ビジネスの業界・地域以外へも積極的に進出し、市場を拡大することで、KITAGAWAブランドの新分野・新市場への浸透を図る。

(2) 収益力強化と価格競争力向上による強固な経営基盤の確立

原価低減と採算管理の徹底により、収益性と価格競争力の向上を実現し、どんな厳しい経営環境にも耐え得る経営基盤を確立し、安定的・持続的な成長を目指す。

(3) 活力溢れる組織の実現

「独創的発想力」「困難へ挑戦する行動力」「コミュニケーション力」を重視することで組織を活性化させ、将来に向けた強い組織作りを行う。

3. 数値目標

【連結業績】

(単位：百万円)

	平成 27 年 6 月期 (実績)	平成 28 年 6 月期 (計画)	平成 29 年 6 月期 (計画)	平成 30 年 6 月期 (計画)
売上高	4,280	4,450	4,700	4,950
営業利益	268	220	280	340
経常利益	254	140	200	270
当期純利益	180	150	180	220

《セグメント別内訳》

産業機械事業

(単位：百万円)

	平成 27 年 6 月期	平成 28 年 6 月期	平成 29 年 6 月期	平成 30 年 6 月期
売上高	2,986	3,520	3,600	3,750
営業利益	163	230	240	270

建材機械事業

(単位：百万円)

	平成 27 年 6 月期	平成 28 年 6 月期	平成 29 年 6 月期	平成 30 年 6 月期
売上高	1,101	730	900	1,000
営業利益	89	△20	30	60

その他の事業

(単位：百万円)

	平成 27 年 6 月期	平成 28 年 6 月期	平成 29 年 6 月期	平成 30 年 6 月期
売上高	192	200	200	200
営業利益	15	10	10	10

以上